

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP-S3-19
研究課題名	胎内被爆者の染色体異常に関するデータの再解析
研究責任者 (所属)	コロン・ジョン (放射線影響研究所 統計部)
試料・情報の利用目的及び 利用方法	利用目的： 原爆被爆者の末梢血のリンパ球において、放射線被ばく量に比例して染色体異常(染色体構造への損傷)の頻度が高いことが観察されています。しかし、胎内被爆者では低い線量での小さな増加を除いてそのような関連はみられていません。低い線量でみられた影響の一部は、喫煙や医用被曝といった染色体異常を生じる他の因子によるのではないかとの疑問が残ります。喫煙と医用被曝について調整したうえで、どのくらい染色体異常が原爆被ばく線量に依存しているかを評価するため、胎内で被ばくした40年後に得られた既存の染色体異常のデータの再解析を行います。また、解析には近年更新された原爆放射線の被曝線量を用います。 利用方法： データ (喫煙歴、医用放射線被曝、原爆放射線による母親の子宮線量の更新された最新の推定値[DS02R1]) を既存のデータに追加し、どのくらい染色体異常の発生が胎内で受けた原爆放射線量に依存しているか統計モデルで再推定します。解析後、報告書を作成し科学雑誌に公表します。
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有 (提供先機関：  <input checked="" type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	RP 3-85 調査 (放影研報告書 RR 9-03 で公表済み) のために、成人健康調査や放影研の線量推定の更新を通じ得られたデータ。 これらのデータは以下を含みます： 胎内被爆した研究参加者の染色体異常頻度 (RP 3-85 のデータ) 妊娠初期/中期/後期の推定被曝線量 (RP 3-85 のデータ、更新予定) RP 3-85 調査のための採血時またはそれ以前の喫煙歴 (成人健康調査データ) 採血時までの推定医用放射線被曝 (成人健康調査データ) 母親の原爆放射線子宮推定線量 (最新の線量推定データ)

利用する者の範囲	放射線影響研究所 コローン・ジョン 杉山 裕美 フレンチ・ベンジャミン 立川 佳美 坂田 律 濱崎 幹也 三角 宗近
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	コローン・ジョン (放射線影響研究所)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<b>【研究担当者】</b> 氏名：コローン・ジョン 公益財団法人 放射線影響研究所 統計部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131